

中学校版「SOSの受け止め方指導プラン」学年・学年ブロック集会

- 1 ねらい これまでの学習を振り返り、互いに不安や悩みを出したり、受け止めたりして、解決していこうという意欲を高める。
- 2 準備 ワークシート 掲示資料（各クラスの感想） ノートパソコン 録音ファイル
- 3 展開

学習活動（10分）○：留意点 ☆：振り返りの生徒の意識

- 1 各クラスの学活で出た感想を黒板に示しながら、聴き方の大事な点を確認する。（2分）
 - 進行は教師が行う。
 - 担任が各クラスから出た感想に触れ、聴き方の大事な点や気持ちを大事にしながら相談にのることで、相談する人が「受け止めてもらっている」と感じられれば、今までより相談しやすいクラスや学年になれる、という言葉でまとめる。

- 2 「相談の受け止め方」の学習をまとめる（4分）
 - 進行が相談カードを紹介し、録音を流す。
 - 「子ども教育相談係」の相談員の電話の受け方（録音ファイル）を聞き、様々な受け止めてくれる環境があるのを知ること、受け止め方の学習を振り返る。

《録音されている内容》

- 子ども教育・子育て相談
「はい、子ども教育・子育て相談です。どのようなことにお困りですか？話しやすいところからお話してください。何年生ですか。」
- 24時間子どもSOSダイヤル
「はい、24時間子供SOSダイヤルです。どうされましたか。話しやすいところからお話してください。何年生ですか。」
- 「みなさん、こんにちは。私は、皆さんに配られた相談カードの場所で電話を受ける仕事をしています。私たちは、群馬県内の子どもや保護者からの相談を、電話で受けています。もし今、悩んでいて、周囲の人に相談しづらい人がいたら、私たちに相談して下さい。話しづらいことは、話さなくてもかまいません。秘密は守ります。話をするとスッキリしたり、考えが整理されたりすることもあります。学校や、家の他にも、相談できる所は、いろいろあります。辛いときは、24時間、いつでも、気軽に電話をして下さいね。待っています。」

（録音を流した後、補足する内容）

- ・悩みを抱えて、学校生活や家庭生活を送っていないか。もし悩みがあるとしたら、まわりの人に相談できているか。
- ・一人で悩みを抱えていても、なかなか解決にたどりつかないこと。
- ・周囲に相談できないことは、電話相談など第三者にも相談できるということ。
- ・みんなの困っていることを受け止め、助けようという人がたくさんいるということ。
- ・人に頼ることは、いつか自分が頼られる、信頼される人に成長するために必要なことである。素敵な大人になるためにも困ったときはSOSをだし、周囲の人のSOSには敏感に反応できる、そんな生活を送ってほしいということ。
- ☆誰かの悩みも受け止めてみよう。受け止めきれなかったら、相談できる所に相談しよう。
- ☆自分の周りには相談を受け止めてくれる人が思ったよりたくさんいるのだな。

- 3 「相談の出し方」と「相談の受け止め方」の学習をまとめる。
 - 教師の説話でまとめる（4分）

《話の内容》

- 自分の心や気持ちの変化に気が付けること。相手の変化に気が付けること。そして、行動すること。悩みを言葉に表す。心配していること、気が付いていることを言葉に表す。
- 悩みや不安を一人で抱え込まず、周囲に目を向けること
- 話す人も聴く人も難しい。だからこそ、相談したり相談を受けたりしたら「ありがとう」が大切であること。「話してくれてありがとう」「聴いてくれてありがとう」
- 誰でも相談しやすい学年になるには、信頼される人になること。信頼する、信頼される関係を作っていこう。

- ☆みんなで相談し合える関係になれるといいな。
- ☆自分が信頼される人になるためにも、相談をしていこう。
- ☆相談できる人や信頼できる人が思い浮かべられて、よかった。自分も相談される人になれるように頑張ろう。

《話し方の例》

「学活でまず、気づくことを学習したでしょ。気づくのはいつもと違う相手に気がつくことも大切だし、自分の心や気持ちの変化に気づくことも大切だよ。『なんかむしゃくしゃするな』とか『不安だな』という気持ちに気がつけば、相談しようって行動ができるよね。友達が『なんかいつもと違うぞ』って気がつけば、『どうしたの』って声かけられるよね。気がつくことが大事だし、行動を起こすことはもっと大事だと思います。

「一人で解決しようとして、考えることはもちろん大事なことです。でも、視野を広げることも大切だと思います。周りを見れば、一緒に考えてくれたり、相談に乗ってくれたりする人がいると思うのです。友達や先生だけでなく、スポ少のコーチとか先輩とかにも相談してもよいと思います。もちろん、先生たちもみんなの助けになりたいと思っています。あなたは『相談しよう』と思ったとき、何人の人を思い浮かびますか？皆が思い浮かんだ人にも、相談できる人がいます。たくさんの人で、あなたを支えられているんだよ。だから考えすぎて、抱え込まないこと。困ったら周りを見渡してみよう。相談された内容が受け止めきれないときも、周りに頼ってよいのですからね。」

「これまで、相談の仕方や相談の受け止め方について勉強してきて、相談して解決しよう、相談されたら受け止めようと学習してきたけど、最後に先生の話をお聴いてくれる？相談するということは分かるけど、それって不安を感じることもあると思うんだよ。さらに相談されたって、最後までじっくり否定せずに聴いて、苦しいと思うんだよ。だから、この学年の一人や二人しか信頼できる人がいない、相談できる人がいないっていうのは、相談がよいと思っても、相談なんかできないよね。だから、学年の全員が信用される人になることが大切だし、人を信用することも大切だと思うんだ。苦しさや難しさを乗り越えて、相談してくれたんだよ。『相談してくれて、ありがとう』という言葉で終わるでしょ。そして相談した人も『話を聴いてくれて、ありがとう』になるよね。『ありがとう』って言葉が信用できる人を育てる言葉なんじゃないかな。先生、そう思います。」

相談の電話を受ける人の言葉

「はい、子ども教育・子育て相談です。どのようなことにお困りですか？話しやすいところからお話してください。何年生ですか。」

「はい、24 時間子供 S O S ダイヤルです。どうされましたか。話しやすいところからお話してください。何年生ですか。」

「みなさん、こんにちは。私は、皆さんに配られた相談カードの場所で電話を受ける仕事をしています。私たちは、群馬県内の子どもや保護者からの相談を、電話で受けています。もし今、悩んでいて、周囲の人に相談しづらい人がいたら、私たちに相談して下さい。話しづらいことは、話さなくてもかまいません。秘密は守ります。話をするとスッキリしたり、考えが整理されたりすることもあります。学校や、家の他にも、相談できる所は、いろいろあります。辛いときは、24 時間、いつでも気軽に電話をして下さいね。待っています。」